

## 日の丸自動車興業とユーグレナ 次世代バイオ燃料を給油したバス出発式を実施

丸の内・日本橋エリア無料巡回バスや、観光バスでサステナブルな東京観光へ

日の丸自動車興業株式会社  
株式会社ユーグレナ

日の丸自動車興業株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：富田哲史、以下「日の丸自動車興業」）と株式会社ユーグレナ（本社：東京都港区、代表取締役社長：出雲充、以下「ユーグレナ」）は、東京都の「バイオ燃料活用における事業化促進支援事業」において<sup>※1</sup>、次世代バイオディーゼル燃料を給油した「スカイバス」出発式を、本日2024年10月7日三菱ビル前スカイバス丸の内乗り場にて実施したことをお知らせします。

※1 2024年8月23日ニュースリリース <https://www.euglena.jp/news/202400823-2/>



出発式の様子：

左から、日の丸自動車興業社長 富田哲史、ユーグレナ執行役員 エネルギーカンパニー長 新田直

日の丸自動車興業とユーグレナは、東京都の「バイオ燃料活用における事業化促進支援事業」において、日の丸自動車興業が東京駅の東西で運行する、

- ・無料巡回バスの「丸の内シャトル」「メトロリンク日本橋」「メトロリンク日本橋 E ライン」
- ・都市観光の「スカイホップ」「スカイバス」

に、ユーグレナが調達・配送する混合バイオ燃料「サステオ」<sup>※2</sup>（軽油/HVO20%混合）を使用することでCO<sub>2</sub>排出量削減を目指し、都内の脱炭素推進に取り組みます。

※2 サステオ：食料との競合や森林破壊といった問題を起こさない持続可能性に優れた生物資源（バイオマス）を原料とするバイオ燃料であり、化石燃料由来の燃料と相対的に比較した場合にCO<sub>2</sub>削減効果が期待されます。また、分子構造が石油由来の軽油と同じ炭化水素のため、軽油を使用する機械や車両にそのまま利用可能です。

本出発式では、「サステオ」を給油した「スカイバス」の試乗も行いました。



#### 日の丸自動車興業社長 富田哲史コメント

「日の丸自動車興業は、2021年に政府が定めた温室効果ガス46%削減目標の達成に向けて、日本で初めて電気バスを導入するなど積極的に対応を進めてきました。東京都からご支援いただき、ユーグレナと協力して次世代バイオ燃料を導入する本支援事業において、助成期間1年半で約160t相当のCO<sub>2</sub>削減に寄与、日の丸自動車グループでSCOPE3の排出量約10%相当の削減効果が期待できます。しかしながら、政府の温室効果ガス46%削減目標を達成するには、さらなる取り組みが必要です。引き続き環境負荷低減に向けて社会共存型の交通インフラを目指していきます。」

#### ユーグレナ執行役員 エネルギーカンパニー長 新田直コメント

「ユーグレナは、10年ほど前からバイオ燃料の研究開発を行い、陸・海・空のモビリティに次世代バイオ燃料『サステオ』を導入してきました。世界ではすでにバイオ燃料の社会実装がされていますが、日本は遅れをとっています。私たちは一刻も早くバイオ燃料を使っていただく世の中にしなければならないという切迫感と使命感を持っており、同じ想いを持つ東京都、日の丸自動車興業、ユーグレナとで本取り組みができることに大変感謝しています。さらに、バイオ燃料の社会実装にはさまざまな方の協力が必要です。この機会にバイオ燃料を社会に広めていければと思います。」

日の丸自動車興業とユーグレナは、東京都の「バイオ燃料活用における事業化促進支援事業」における、取り組みを通じて東京都の脱炭素化に貢献できる体制を築いていきます。

<日の丸自動車興業株式会社について>

1963年に貸切バス事業を運営するバス事業者として創業。団体旅行のマーケットが変化する中で、個人旅行へ拡充する上で、日本初2階建てオープントップバス「SKY BUS」が2004年に運行を開始し、20周年を迎えた。その後、乗り降り自由な「SKY HOP BUS」や水陸両用バス「SKY Duck」といった新たな観光バスの形を確立した。また、東京駅周辺の回遊性を高め、活性化を促す目的として無料巡回バス「丸の内シャトル」を2003年より運行スタート。日本橋地区と合わせ、現在は3ルートを運行。常に社会や街の課題と向き合い、共存しながら、バス事業者として持続的な取り組みを行っている。  
<https://www.hinomaru-bus.co.jp/>

<株式会社ユーグレナについて>

2005年に世界で初めて微細藻類ユーグレナ（和名：ミドリムシ）の食用屋外大量培養技術の確立に成功。「Sustainability First（サステナビリティ・ファースト）」をユーグレナ・フィロソフィーと定義し、微細藻類ユーグレナ、クロレラなどを活用した食品、化粧品等の開発・販売、バイオ燃料の製造開発、遺伝子解析サービスの提供、未利用資源等を活用したサステナブルアグリテック領域などの事業を展開。2014年より、バングラデシュの子どもたちに豊富な栄養素を持つユーグレナクッキーを届ける「ユーグレナ GENKI プログラム」を、継続的に実施している。<https://euglena.jp>